

## 「心あわせはいつも自分の心がきめる」

これは、あいだみつをさんの書いた詩です。私が学級担任をしていた頃、子ども達に毎年、話（説教）をし、伝えていた詩です。同じ出来事が降りかかってきたとしても、それをどう捉えるかは自分次第だということです。一般的に「不幸だ！」「自分はなんてついていないんだ。』『何でこんなに運が悪いんだ！』」と思えることも、自分の「受け止め方」次第では「かえってよかったな！」「いい機会だからこれを機に頑張ろう！」という気持ちになれるということです。前者の受け止め方をすると、ずっと嫌な思いや不安を抱えながら過ごしていかなければなりません。後者の受け止め方（ポジティブシンキング）のできる人は、少ないダメージしか受けずに、明るくやる気に満ち溢れながらその後の日々を送ることができるのではないのでしょうか。人生とは不思議なもので、このように同じ出来事が起こっても自分の受け止め方、考え方次第で全く真逆の日々になってしまいます。こんな話を6月の全校朝会で子ども達に伝えたところでした。

## 日之影スタンダード（日之影の「当たり前」）！！

5・6年生は「総合的な学習の時間」の1つの活動として米作りを行っています。今年も5月に種籾（ことしはもち米）をまいて学校で育苗をし、6月になって田植えを行いました。今年度から新しい田んぼをお借りしての米作りとなりました。田んぼに行ってみると田んぼを貸してくださった保護者の方（本校児童Nさんのお父さん）とそのご両親（おじいちゃん、おばあちゃん）の方がいらっしゃって、田植え綱を持ちながら、子ども達に田植えの指導をしてくださっていました。約30分ほどで植え終わり、その後、100メートルほど離れた研修センターで、手や足を洗い、着替えをさせていただきました。そうしたら何と、子ども達にジュースとおやつが準備してあり、子ども達は大喜び。本校の子ども達のために、田んぼを貸してくださり、植え方の指導もしてくださり、ジュースにおやつと本当に子ども達を大切にしてくださっていることを実感しました。このような「相手を思いやる心」や「おもてなしの心」に触れ、そうすることが「当たり前」という日之影っ子に育ってくれるのではないかと思った次第です。そして日之影っ子がこの「当たり前」を身に付けながら成長し、次の世代へと脈々と受け継いでくれるに違いありません。Nさんのご家族の方々に感謝感謝です。ありがとうございました。



## 図書室に新刊！！

本校では読書活動の充実として、地域ネットワークの皆様、保護者の皆様による読み聞かせや、各家庭での家読（うちどく）、毎週火・木曜日、朝の読書の時間の設定などに取り組んでいます。また、5月には本校の子ども達が買って欲しい本を選ぶ「選書会」を行いました。子ども達が1人1冊ずつ選んだ図書34冊が届き、早速読み始めています。また、ちょうどその後に、全国の小学生が選んだ「面白かった本ベスト10」が新聞などで紹介されましたので、日之影っ子にぜひ読んでもらいたいと思い、早速、その10冊を注文しました。首を長くして待っていたところ、先日届きましたので、貸出しを開始しました。本校では、年間の目標として読書冊数を低学年100冊以上、中学年80冊以上、高学年60冊以上としています。読書は、様々な知識を得たり、自分の生活を豊かにしたりできる素晴らしいことです。小学生のころからたくさん本を読んで欲しいと思っています。



## 日之影町「町教育の日」

先日、6月24日（日）に日之影町教育委員会の主催で、「町教育の日」が行われました。小学生は宮水小が会場でしたが、全体で180名の参観がありました。そのうち日之影小の保護者の方が35名、日之影小校区の地域の方が8名参加していただきました。各学年で国語や算数、音楽や体育、外国語の授業などを行いましたが、慣れない大人数の集団の中でも、いつもどおり、しっかりと学習に取り組む姿を見て、大変嬉しく思いました。保護者の方のご意見は、現在集約中ですが、アンケートを回収しながら何枚か拝見させていただいたものでは「子どもがよく頑張っていました」とか「大変楽しそうに活動してよかったと思います」という意見が見られました。今年度が2回目の実施でしたが、更に工夫を行い次年度の実施に活かしていきたいと考えているところです。貴重な休日に、ご参観いただきまして、ありがとうございました。



### 7・8月の主な行事予定

- 7月13日（金）参観日、校内水泳大会、学校保健委員会
- 7月17日（火）マイスター派遣授業（板金）
- 7月20日（木）第1学期終業式
- 7月21日～夏休み～8月26日まで
- 8月1日（水）登校日
- 8月27日（月）2学期始業式